

## (3) 海外の先進事例・参考事例

以下の先進事例・参考事例を紹介する。

表VI-1-2 海外の先進事例・参考事例

NO	広場名	国名	都市名 公園名 等
1)	Playground for All Children	アメリカ	ニューヨーク市 フラッシング メドウ コロナ パーク
2)	Joseph E. Devoy Playground	アメリカ	ニューヨーク市 フォレスト パーク
3)	Ancient Playground	アメリカ	ニューヨーク市 セントラル パーク
4)	LATCP Accessible Park & Playground	アメリカ	ニューヨーク州 ロングアイランド アイゼンハワー公園
5)	Palo Alto' s Magical Bridge Playground	アメリカ	カリフォルニア州 パロアルト ミッチェル パーク
6)	Redwood City' s Magical Bridge Playground	アメリカ	カリフォルニア州 レッド ウッド シティ レッドモートン パーク
7)	Pioneer Park All Abilities Playground	オースト ラリア	クイーンズランド州 カラウンドラ市 パイオニアパーク
8)	海外事例の特色ある遊具等	—	—
9)	その他の海外事例	—	—

### ■アメリカの概況

アメリカでは障がいをもつアメリカ人法（ADA=Americans with Disabilities Act of 1990）の後押しや、公園遊具メーカーのユニバーサルデザイン遊具の開発競争、NPO や市民グループの熱心な活動などを背景に、次々とインクルーシブなプレイグラウンドが整備されてきている。

当初は先進的な取り組みだったインクルーシブなプレイグラウンドづくりも、多くの整備事例や普及した専門的な情報や技術などで、特別な専門家や潤沢な資金をもたない自治体でも整備できるような環境になってきているといわれる。

アメリカで、積極的な活動を続ける主な NPO として以下のようなものがあげられる。

#### □Shane's Inspiration（シェーンズ インスピレーション）

カリフォルニア州を拠点に、米国内外でだれもが利用できる公園をつくる支援活動をしている。また、公園を活用した各種イベント等の企画、開催なども行い、多様な子どもたちの交流や相互理解の促進に積極的に取り組んでいる。

(<http://www.shanesinspiration.org/>)

#### □Boundless Playgrounds（バウンドレス プレイグラウンド）

コネチカット州を拠点に、コミュニティに子どもたちのための特別なプレイグラウンド（遊び場）を誕生させる運動を支援している。1997年に設立され、このような NPO としては、米国では最初の団体と言われる。米国では、すでに 20 の州に展開しており、カナダを合わせると、その数は 100 を超えるという。

(<http://www.boundlessplaygrounds.org/>)

#### □Let All The Children Play（レット オール ザ チルドレン プレイ）

「障がいのある子どもがいない子どもと一緒に遊んだり運動したりできるアクセシブルな公園とインクルージョンなレクリエーションプログラムを提供し、すべての子どもの人生の質と尊厳の向上を図る」ことを目的としている。2006年に設立された。

(<https://latcp.org>)

これらの NPO などが連携した誕生したインクルーシブなプレイグラウンドは、全米各地にある。

なお、ニューヨーク市公園・レクリエーション局では、市内のプレイグラウンドのアクセシビリティを以下のようなレベルに区分している。

ーアクセシビリティレベル定義ーニューヨーク市公園・レクリエーション局ー

レベル1：すべての子どもたちが遊べる遊び場（注：レベル1が最高ランク）

レベル2：スロープ付きの遊具とだれもがアクセスできるブランコがある遊び場

レベル3：だれもがアクセスできるブランコがある遊び場

レベル4：移乗できるデッキのついた遊具や地面の高さで遊べる遊具のある遊び場

（ガイドライン本編p10の再掲）

## 1) Playground For All Children (フレイグラウンド フォー オール チルドレン)



アクセシビリティレベル1のプレイグラウンド。スロープ付きの大きな複合遊具などがある。

## ■施設概要

国名	アメリカ	都市名	ニューヨーク市
公園名	Flushing Meadows Corona Park	面積	約 508ha
広場名	Playground For All Children	面積	約 1.2 ha (図測)
整備主体	ニューヨーク市公園・レクリエーション局		
整備年次	1984年に整備され、2003年に改修。		
開園時間等	午後9時閉園。無料。		
整備概要等	障がいのあるこどものために米国で建設された最初の遊び場と言われており、世界全体の同様の事例のプロトタイプとされている。3才から12才までのこども向けの様々なアクティビティを提供している。松葉杖、杖、車いすを使用することもたちを受け入れ、社会的、認知的、感覚的、身体的な能力を成長させるため、多くの機会を提供できるように設計されている。アクセシビリティレベルは1である。		
主なUD遊具等	複合遊具のほか、ブランコ、複数種類の楽器遊具、学校やスクールバスを模した家形遊具（プレイハウス）、バスケットボールコートなどがある。どれも車いすでの行き来ができるように配慮されている。バスケットボールコートの観客席は、席の間のスペースが車いす対応になっている上、コンパニオンシーティングの考え方により健常者と同じ視点で観戦できるよう配慮されている。		

## 管理運営

すべてのこどものための遊び場は、公園主催の学習プログラムをこどもたちに提供している。園芸と自然プログラムは、実践的な活動を通じてこどもたちに簡単な保全活動を教え、芸術工芸プログラムは、自己表現と創造性を高めるために工夫されている。

航空写真：Google Earth



■主な遊具・施設



入口部 利用者を迎えるゲート、注意標識、日除けなどが整備されている



プレイハウス 複数設置。車いすも入れる。コーススペースにもなる。



ラダー・鉄棒 車いすでも楽しめるよう、高さや幅などが配慮されている。



ブランコエリア 5座すべてが椅子型ハーネス付。



楽器遊具 大きめの楽器遊具で合奏もできる。複数ある。



打楽器遊具 複数ある。



車いすでも一緒に楽しめる野外卓



衝撃緩衝用舗装マット 段差処理にも効果的である。

## 2) Devoy Playground (デヴォイ プレイグラウンド)



緩やかなスロープの複合遊具などがあるプレイグラウンド。

## ■施設概要

国名	アメリカ	都市名	ニューヨーク市
公園名	Forest Park	面積	約 500 エーカー以上
広場名	Joseph E. Devoy Playground	面積	約 0.4ha
整備主体	ニューヨーク市公園・レクリエーション局		
開園時間等	午後9閉園。無料。		
整備概要等	<p>自閉症のこどもを持つ設計者が設計している。複合遊具、楽器遊具、ブランコなどが設置されており、なかでも特徴的なのは、複合遊具のデッキ部分にパネル遊具が多数設置されていることである。また、遊具広場の奥には、クワイエットコーギーゾーンが設けられ、興奮したこどもが気持ちを落ち着けられる工夫がなされている。</p> <p>小さなプレイグラウンドながら、大きな樹木があり、園路等の舗装の配置は、樹木の根張り範囲を考慮して設計されている。</p> <p>アクセシビリティレベルは4である。</p>		
主なUD遊具等	複合遊具 パネル遊具各種 ブランコ 打楽器遊具（複数） 自然遊び場 （クワイエット コーギースペース）	<p>航空写真</p> <p>航空写真：Google Earth</p>	

■ 主な遊具・施設



パネル遊具 地面上で楽しめるパネル遊具。



複合遊具デッキ沿いのパネル遊具 車いすでも楽しめる。



複合遊具 滑り台へ移乗しやすい工夫がなされている。



打楽器遊具



ブランコエリア イス型2座、残り4座は平板型。



離れた静かな場所にある自然遊び場 コージースペースにも利用される。



休憩所 車いすと一緒に座れる野外卓がある。



コンパニオンシートの空間が確保されているベンチ。

## 3) Ancient Playground (アジャント プレイグラウンド)



ピラミッドのような形をしたシンボリックな滑り台がある。アクセシビリティレベルは1。

## ■施設概要

国名	アメリカ	都市名	ニューヨーク市
公園名	Central Park	面積	約 341 ha
広場名	Ancient Playground	面積	約 0.3 ha (図測)
整備主体	ニューヨーク市公園・レクリエーション局		
整備年次	当初の建設は 1960 年代と 70 年代。		
開園時間等	7:00 開園、夕暮れ時閉園。無料。		
整備概要等	<p>セントラルパーク内にある遊具広場。面積約 0.3ha。アクセシビリティレベル1の公園で、園内の複合遊具はすべて車いすでアクセスできる。</p> <p>ここでは、2-5才のエリアと5-12才のエリアに区分されている。2-5才のエリアの中心的な施設は、ブランコ、砂場、水遊び場。5-12才のエリアは、滑り台のある複合遊具2基、タイヤ型ブランコ、ややワイルドな砂遊び、水遊び場などがある。</p> <p>遊具は木調で、親しみやすく、プレイグラウンド全体のデザイン的統一感もあり、細部にまで行き届いた配慮がなされている。</p>		
主なUD遊具等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■ 平面図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>■ 航空写真</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">航空写真：Google Earth</p>		
ブランコ 水遊び場 砂場 複合遊具			

■ 主な遊具・施設



2-5才エリアのブランコ 椅子型は1座、バケット型2座、平板型2座



5-12才エリアのブランコ タイヤ型ブランコ2座。全方向に揺れ、挑戦レベルがやや高い。



5-12才エリアの複合遊具 木調のデザイン チューブの滑り台。



5-12才エリアの複合遊具 らせん状の滑り台 車いす用のスロープはない。



2-5才エリアの砂場



2-5才エリアの水遊び場



5-12才エリアの砂場



5-12才エリアの水遊び場

## 4) LATCP Accesible Park &amp; Playground (LATCP アクセシブルパークアンドプレイグラウンド)



入口部。大きなゲートが利用者を迎える。

## ■施設概要

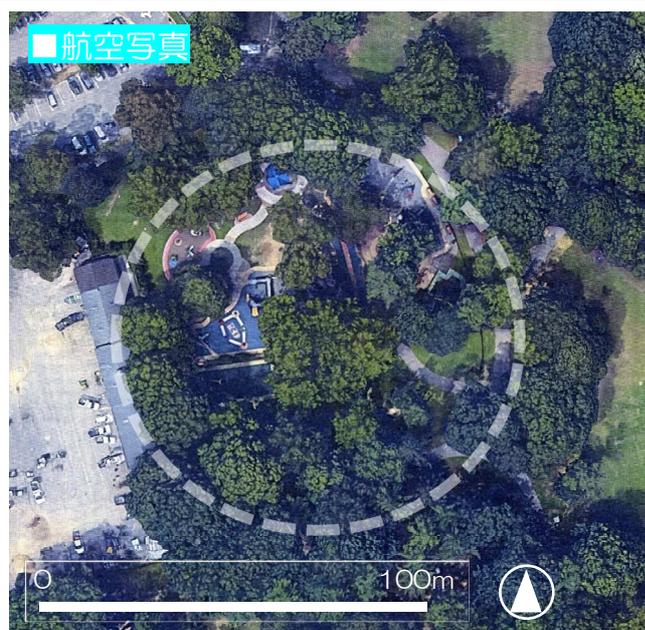
国名	アメリカ	都市名	ニューヨーク州 ロングアイランド
公園名	ニューヨーク州立アイゼンハワー公園	面積	約 380 ha
広場名	LATCP Accesible Park & Playground	面積	約 0.8 ha
整備主体			
整備年次	2012年		
整備概要等	<p>ニューヨーク州のロングアイランド、州立アイゼンハワー公園の中にあるプレイグラウンド。LATCPは、「Let All The Children Play」というNPOの名前の略。規模は砵公園や府中の森公園の遊具広場に近いか、やや大きめである。約8000㎡。年齢に応じたゾーニングがあり、様々な特性に応じた利用に対応できる多様な遊具がみられる。既存樹木も良く保全され、緑の多い広場となっている。</p>		

## 主なUD遊具等

## 複合遊具

地面上に架けられた吊橋  
 車いすでも乗れる回転遊具  
 椅子型ハーネス付ブランコ  
 揺れ動く遊具  
 バランス系遊具  
 など

航空写真：Google Earth



■主な遊具・施設



利用案内板 利用上の注意事項が記載されている。



バランス系遊具 高難度系遊具 ユニバーサルデザインのレベルは高くないが、車いすから移乗して楽しめる要素はある。



地面に架けられた吊橋 床板の揺れやスロープが楽しめる。



回る遊具 乗ると重みで回転する遊具。バランス感覚が養える。



2-5才のブランコエリア 椅子型、バケツ型、タイヤ型など、4種類ある。



5-12才エリアのブランコ



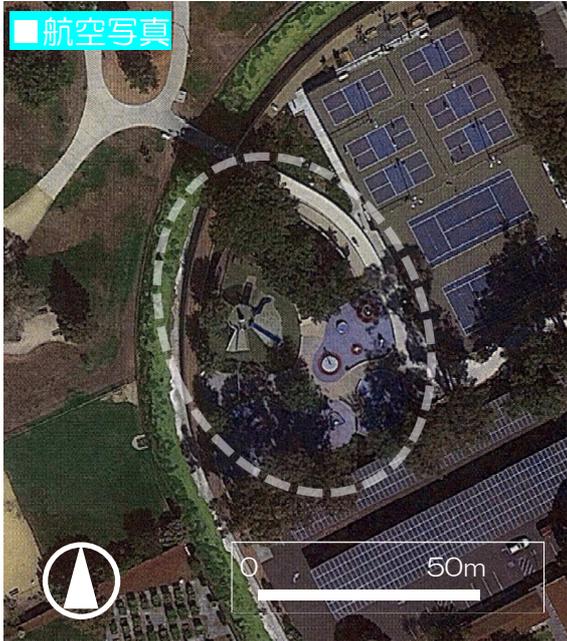
複合遊具 車いす使用者も利用できる。2~5才用。



回転遊具 車いす使用者も乗れる。

## 5) Palo Alto's Magical Bridge Playground (パロアルトのマジカルブリッジプレイグラウンド)

## ■施設概要

国名	アメリカ	都市名	カリフォルニア州パロアルト市
公園名	ミッチェルパーク	広場名	Magical Bridge Playground
整備主体	マジカルブリッジ財団		
公園面積	約 8.6 ha	広場面積	約 0.2 ha (図測)
整備年次	2015年4月		
開園時間等	9:00~16:30 月曜日は休園		
整備概要等	<p>サンフランシスコ市の南方、パロアルト市のミッチェルパーク内にある、障がいのある人にも配慮したインクルーシブなプレイグラウンド。地元に住む女性オレンカ・ビジャレアル氏が、重度の知的障がいを持つ娘を安心して遊ばせる公園がなかったことから、自らマジカルブリッジ財団を設立し、プレイグラウンドを設置した。インクルーシブなプレイグラウンドの先進事例として注目を浴びている。</p> <p>コロナ禍では、同時の利用者を55人に限定し、距離を保って利用するように管理している。</p>		
主なUD遊具等	<p>車いすでアクセスできる 滑り台 車椅子でも乗れて揺れを楽しむ遊具 円盤型やバケット型のブランコ 車いすから移乗して楽しめる ローラー付きのラダー プレイハウス など</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>航空写真 Google Earth</p> </div>  </div>		

資料 : <https://paloalto.prelive.opencities.com/Departments/Community-Services/Open-Space-Parks/Neighborhood-Parks/Mitchell-Park/Magical-Bridge-Playground>

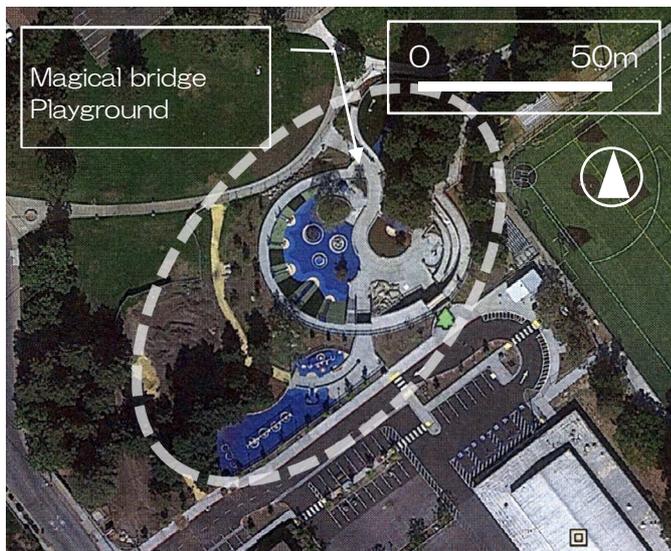
「公園文化 WEB」ミッチェルパーク(北アメリカ) (一財)公園財団

6) Redwood City 's Magical Bridge Playground (レッドウッドシティのマジカルブリッジプレイグラウンド)

■施設概要

国名	アメリカ	都市名	カリフォルニア州 レッドウッド市
公園名	レッドモートンパーク	広場名	Magical Bridge Playground
整備主体	レッドウッドシティ / マジカルブリッジ財団		
公園面積	約 5.6ha	広場面積	約 0.4 ha
整備年次	2020年12月	整備費	約 680万ドル (約 7.4 億円)
開園時間等	9:00～夕暮れ時		
整備概要等	<p>様々な身体的、認知的能力のこどもと大人のために、インクルーシブなデザインを取り入れて整備された。</p> <p>障がいのあるこどもも滑れる滑り台や、車いすのまま乗れる回転遊具などが、柔らかなゴムチップ舗装の広場内に整備されている。</p> <p>管理運営を担当するスタッフ、マジカルブリッジチームが、利用状況を監視、また、遊びを支援している。</p> <p>約 680 万ドルの建設費のうち、330 万ドルは、マジカルブリッジ財団によって集められており、残りは住宅開発プロジェクトに課せられた市のパークインパクトフィー基金により支払われた。</p> <p>コロナ禍では、入口は2箇所、入場者数は 75 人と制限されており、混雑時の利用時間は 30 分に制限されている。</p>		
主なUD遊具等	<p>滑り台 椅子型ハーネス付きブランコ 車いすで乗れる回転遊具 スウィング遊具 プレイハウス など</p> <p>航空写真 Google Earth</p>		

■航空写真



資料： [Magical Bridge Playground | City of Redwood City](https://www.cityofredwood.com/2020/12/01/magical-bridge-playground-opens/)

[Redwood City's Magical Bridge Playground opens Dec. 1 - Climate Online \(climaterwc.com\)](https://www.climatewater.com/redwood-citys-magical-bridge-playground-opens-dec-1/)

## 7) Pioneer Park All Abilities Playground (パイオニアパーク オール アビリティ プレイグラウンド)

## ■ 施設概要

国名	オーストラリア	都市名	クィーンズランド州カラウンドラ市
公園名	パイオニア・パーク	広場名	All Abilities Playground
整備主体	クィーンズランド州		
公園面積	—	広場面積	約 380 m <sup>2</sup>
整備年次	2006 年		
整備概要等	<p>クィーンズランド州の障がい者部局 (DSQ:Disabilities Services Queensland) が取り組んでいる、「障がいの有無を問わないすべてのこどものための遊び場 (All Abilities Playground)」の第 1 号として整備されたという、歴史的に重要な遊び場。</p> <p>安全柵で囲まれた広場で、体幹の弱い子でも遊べるような遊具や、楽器遊具やパイプ電話、ハンモックや回転遊具、ハーブガーデンなどを楽しむことができる。</p> <p>このクィーンズランド州のノウハウを活かして、州内のセントハイランズ市と姉妹都市である一関市に、遊具広場が整備されている。</p>		
主なUD遊具等	<p>体幹の弱いこどもでも乗れるブランコやターザンロープ          サンドテーブルを持つ砂場          振動する岩          回転する花          プレイハウス          レイズドハーブガーデン          スウィング遊具          点字案内板          など</p>		

資料：[Pioneer Park at Landsborough | All Abilities Playground | Brisbane Kids](#)

「みーんなの公園プロジェクト」

公園を知る「海外事例」 > [No.09 公園訪問 in クィーンズランド・オーストラリア\(前編\)](#)

8) 海外事例の特色ある遊具等



写真・資料提供 ※「みーんなの公園プロジェクト 公園を知る「海外事例」>「No.34 テイタムズ・ガーデン」  
<https://www.minnanokoen.net/playground-abroad/playground-abroad-34/>

写真・資料提供 ※PLACE [www.place.la](http://www.place.la) Harper's Playground ※PLACE [www.place.la](http://www.place.la) Gateway Discovery Park

掲載内容	<p>これまで紹介した事例の他にも、海外においては日本では珍しいインクルーシブ遊具やインクルーシブな空間づくりの事例が多数あり、様々な工夫がされている。</p> <p>そのような国内では珍しい遊具や空間づくり等の例を抽出し、事例としてまとめ以下に掲載することとした。</p>
------	---

■各種遊具の事例



みーんなの公園プロジェクト



みーんなの公園プロジェクト

音楽での交流が生まれる集いの場【アメリカ カリフォルニア州】

円形劇場を模した小さなステージとパーゴラ付きの観客席（休憩所）があり、隣に複数の楽器系遊具（木琴、鉄琴、パイプドラム、箱太鼓など）が配置された広場。子ども達が即興で音遊びやダンスを楽しんだり、利用者どうしの交流の場としても親しまれている。



みーんなの公園プロジェクト



みーんなの公園プロジェクト

アートな迷路【アメリカ カリフォルニア州】

壁を飾る絵は鮮やかな色づかいや凹凸で表現され、弱視や全盲の子ども達も楽しみやすい。これらの絵は地元のアーティストや市民が協力して描いたもので、体を使った運動遊びだけでなく子どもたちの芸術的な感性を刺激する空間となっている。



みーんなの公園プロジェクト



みーんなの公園プロジェクト

**それぞれの挑戦ができるアスレチック広場【アメリカ カリフォルニア州】**

高さや幅の違うラダーや吊り輪など、小さい子どもや車いす利用者も車いすに乗ったまま楽しめる遊具がある。揺れる床面を歩いたり登はん遊具に挑むなど、子どもが自分に合ったリスクを取りながら楽しめるよう、遊びやチャレンジの選択肢が豊富。



みーんなの公園プロジェクト

**寄贈書から繋がるコミュニティ**

【アメリカ カリフォルニア州】

公園内にある手作りの木箱には本が収納されており、誰でも好きな本を借りて読んだり、読んでほしい本をここへ寄贈できる。



PLACE [www.place.la](http://www.place.la) Gateway Discovery Park

**独創的な知育遊具【アメリカ オレゴン州】**

車いすでアクセスでき、自由な遊び方を考え、こどもの発想を育む知育的要素がある。小さな子の目線からは特に、高さや登り難さの違いを楽しめる。



**車いすのまま乗れるゆりかごブランコ**

【アメリカ】

介助者や複数の子どもたちが一緒に乗れて、揺れを楽しめる。



黒と緑を半分づつ正面に向けてスタート

**オセロができるパネル遊具【フランス】**

緑と黒の2色で塗り分けられたボールを回転させてオセロを楽しむ。色を意識しながらボールを動かし、手先の感覚を養える。



【アメリカ オレゴン州】

**公園景観に溶け込む各種コースター施設**

【アメリカ オレゴン州】

自然に溶け込む岩や木の洞を模したコースター（気持ちを落ち着かせる空間）は、自閉症など精神障がいを持つこどもの感情をクールダウンスポットであるとともに、公園景観とも違和感なく馴染むデザインとなっている。



**車いすのまま楽しめるトランポリン**

【ドイツ】

車椅子でもアクセスできる。車いす利用者は介助者の協力で上下に弾み、普段味わえない浮遊感覚を体験することができる。



**車いすのまま楽しめる大型シーソー**

【フランス】

幅が広く、多くの子どもたちや介助者と一緒に車椅子まま騎乗できる。協力し合いながら揺れる楽しさをみんなで共有できる。



**場所を選ばないレイズド水遊び（ウォーターテーブル）**

【フランス】

車いす利用者も車いすに乗ったまま、他の子どもたちと一緒に水遊びを楽しめる遊具。水飲み程度の給水と排水が取れば、大掛かりな設備が無くても設置が可能。

## 9) その他の海外事例

海外には、そのほかにも、先進的な事例が数多くみられる。

市民グループ「みーんなの公園プロジェクト」は、ホームページにおいて「公園を知る<海外事例>」と題して、前記で紹介した事例を含めて、以下のような事例を紹介している。

## ■アメリカ

- ①シェーンズ・インスピレーション<グリフィス パーク> (ロサンゼルス)
- ②イマジネーション・プレイグラウンド (ニューヨーク)
- ③アッサー・レビー・プレイグラウンド (ニューヨーク)
- ④LATCP アクセシブル パーク アンド プレイグラウンド (ニューヨーク州)
- ⑤ミルストーン・クリーク・パーク (オハイオ州ウェスタービル)
- ⑥プレストンズ・ホープ (オハイオ州クリーブランド)
- ⑦ヘレン・ディラー・プレイグラウンド (サンフランシスコ)
- ⑧サーモン・ベイ・スクール (学校の遊び場) (シアトル)
- ⑨ディスカバリー・プレイグラウンド (ワシントン州オーバーン)
- ⑩ロータリー・プレイガーデン (サンノゼ)

## ■オーストラリア

- ①パイオニア・パーク (クイーンズランド州カラウンドラ)
- ②ローマ・ストリート・パークランド (ブリスベン)
- ③オール・アビリティズ・プレイグラウンド (ケアンズ)
- ④リヴィズ・プレイス (シドニー)
- ⑤ジョージ・グレーガン・プレイグラウンド (病院の遊び場) (キャンベラ)

## ■イギリス

- ①ロケット・パーク (ロンドン)
- ②ダイアナ・メモリアル・プレイグラウンド (ロンドン)

## ■カナダ

- ①キツラノ・ビーチパーク・プレイグラウンド (バンクーバー)
- ②ウィスラー・オリンピックプラザ・プレイグラウンド (ウィスラー)

[公園を知る「海外事例」 - みーんなの公園プロジェクト \(minnanokoen.net\)](https://www.minnanokoen.net/playground-abroad/)  
<https://www.minnanokoen.net/playground-abroad/>